

2017年3月期 第2四半期決算説明会

株式会社 **メルコホールディングス** (6676)

2016年11月1日

本日の内容

1. 2017年3月期 第2四半期(連結)決算概要
2. 重点取組みのご報告
3. 2017年3月期 業績見通し
4. メルコグループのご紹介

2017年3月期 第2四半期(連結)決算概要

第2四半期(累計)連結決算のポイント

1. 周辺機器事業は減収するも増益

価格競争の激化や海外でのラインナップの絞り込み等の影響により減収したが、円高による原価低減効果等が奏功し増益



2. サービス事業は自社サービスで補えず減収し減益

アパートWi-Fiの売上が前年同期比約300%増となったが、光回線の代行設定サポート事業減の影響を補えなかった



3. 海外事業は不採算販路の縮小や撤退により減収

NAS製品を中心にラインナップの絞り込みを行った



第2四半期(累計) 連結決算P/L

売上高 : 周辺機器事業の売上減のインパクトが大きく減収
営業利益 : 売上減に伴う減益分を原価低減による増益効果で
補い増益

	1603期 2Q累計 (億円)	1703期 2Q累計 (億円)	前期比	
			増減率(%)	増減額(億円)
売上高	389	358	▲8.0	▲31
営業利益 (率)	18 (4.8%)	26 (7.2%)	39.0	7
経常利益 (率)	23 (5.9%)	33 (9.3%)	44.2	10
四半期純利益 (率)	16 (4.0%)	24 (6.8%)	55.8	9

第2四半期(累計)事業別連結売上高

周辺機器：販売競争激化に伴う単価下落により減収

サービス：光回線の代行設定サービスの減少により減収

金 融：市況が厳しい中を堅調に推移し増収

		1603期 2Q累計 (億円)	1703期 2Q累計 (億円)	前期比	
				増減率(%)	増減額(億円)
	周辺機器	372	344	▲7.4	▲28
	サービス	11	7	▲39.7	▲5
	金 融	6	7	16.1	1
	その他	0	0	▲0.4	▲0
	合 計	389	358	▲8.0	▲31

第2四半期(累計)事業別連結損益

周辺機器：円高による原価低減効果が奏功し増益

サービス：光回線の代行サポート事業の縮小に伴い減益

金 融：市況が厳しい中を堅調に推移し増益

		1603期 2Q累計 (億円)	1703期 2Q累計 (億円)	前期比	
				増減率(%)	増減額(億円)
	周辺機器	13	20	54.7	7
	サービス	2	0	▲89.9	▲2
	金 融	3	4	33.6	1
	計	18	25	36.9	7
	その他・消去	0	0	—	—
合 計		18	26	39.0	7

第2四半期(累計)カテゴリ別売上高分析

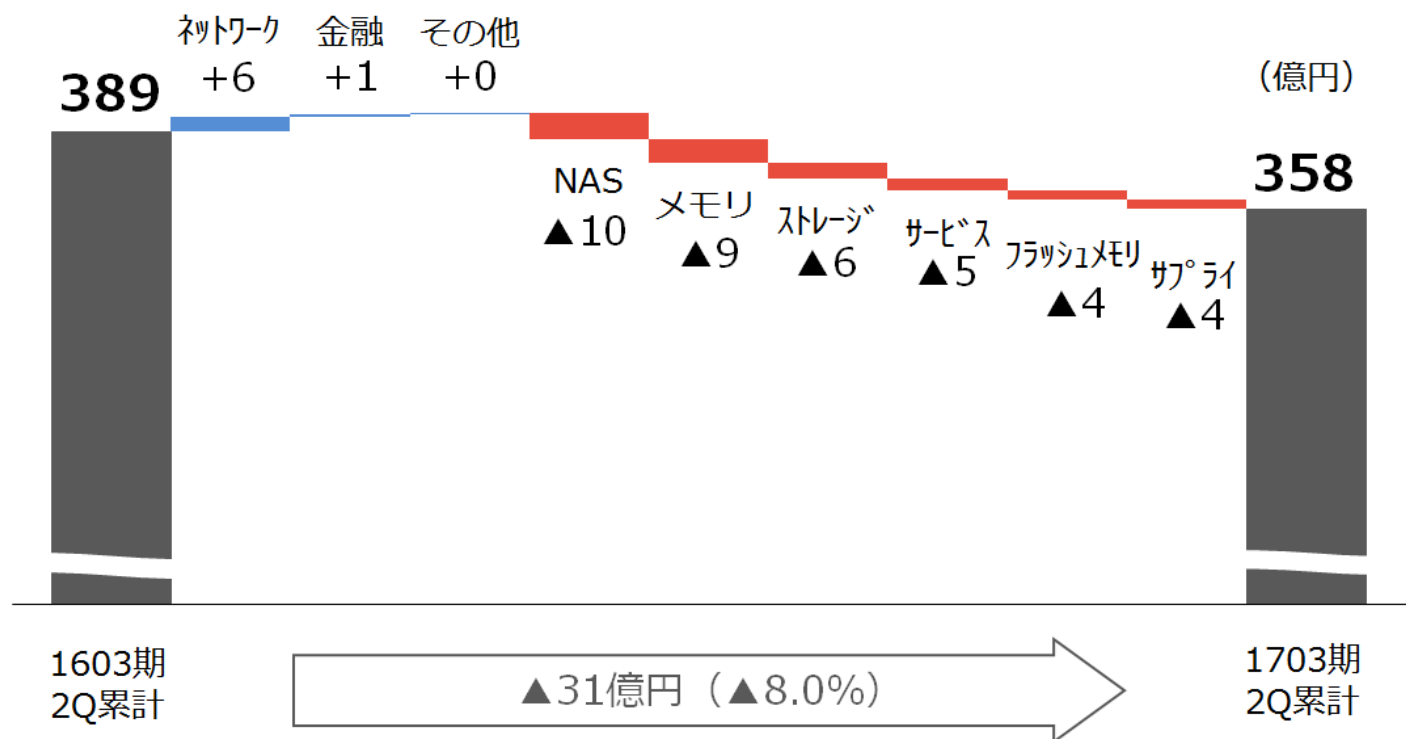
増収
7億円

国内：お客様のライフスタイルに合わせた無線ルータの拡充や
高付加価値製品の販売強化が奏功

減収
38億円

国内：ほぼ全てのカテゴリで単価が前年同期割れ。光回線の代行
サポート事業の縮小

海外：NASビジネスの絞り込み

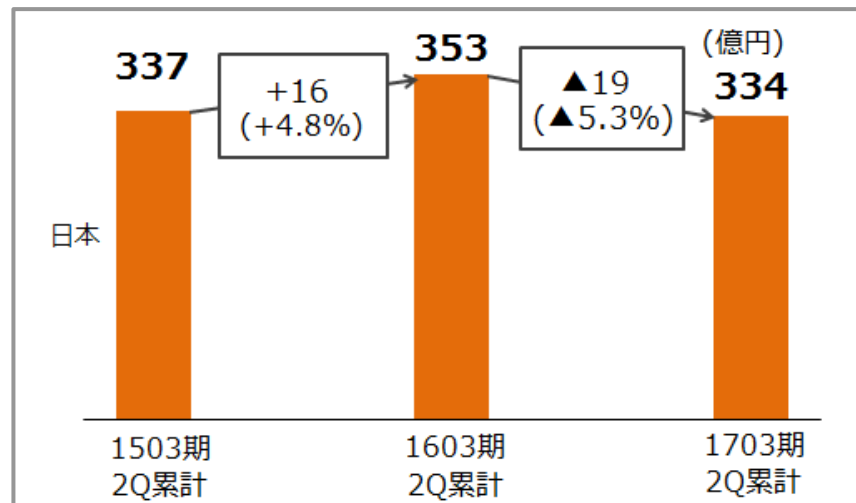


第2四半期(累計) 地域別売上高推移

単位：億円	日本	北米・中南米	欧州	アジア・オセアニア	合計
売上高 (前期比)	334 (▲5.3%)	11 (▲31.7%)	9 (▲22.1%)	4 (▲54.3%)	358 (▲8.0%)

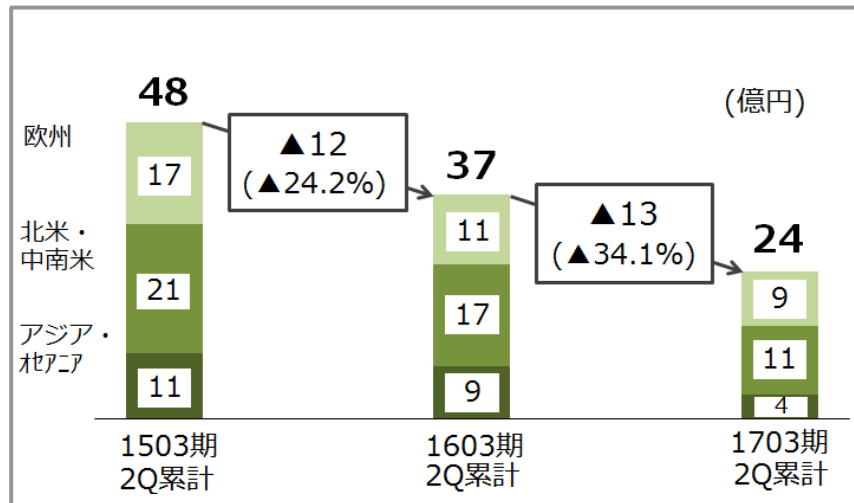
<日本>

販売競争の激化による単価下落の影響。法人向け無線LANやNASの販売強化に取り組む



<海外>

ラインナップの絞り込みは継続。オーディオNASはアジア地域の新たな国で販売を開始



四半期連結決算 B/S

単位：百万円		1603期末	1703期 2 Q末	差異
流動資産		60,476	57,262	▲3,213
	現金及び預金	4,664	5,706	1,041
	受取手形及び売掛金	10,673	9,502	▲1,170
	棚卸資産	7,673	7,940	266
	その他の流動資産	37,464	34,113	▲3,351
有形・無形固定資産		1,588	1,473	▲114
投資その他の資産合計		2,917	5,399	2,481
資産合計		64,982	64,135	▲847
流動負債		18,671	19,027	355
	支払手形及び買掛金等	11,759	12,713	953
	未払法人税等	155	659	503
	その他の流動負債	6,756	5,654	▲1,101
固定負債		2,507	2,420	▲87
負債合計		21,179	21,447	268
純資産合計		43,803	42,688	▲1,115
負債純資産合計		64,982	64,135	▲847

重点取組みのご報告

重点取組みのポイント

1. 高付加価値製品の投入とポジション堅持

高付加価値製品の投入とシェアの堅持により
ブランド価値の向上を図る



2. 法人向け製品の積極投入による法人市場の深耕

お客様からの直接ヒヤリング等の活動によって
開発された製品を上市し、市場の深耕を図る



3. 収益力強化活動の継続

グループ収益の安定化を目指し、サービス事業の
強化を継続中



1. 高付加価値製品の投入とポジション堅持

高付加価値製品の投入とシェアの拡大に積極的に取り組む

高付加価値製品の投入



大型可動式アンテナ搭載
11ac 4x4対応無線LAN



「心地よい」をカタチに
プレミアムフィットマウス



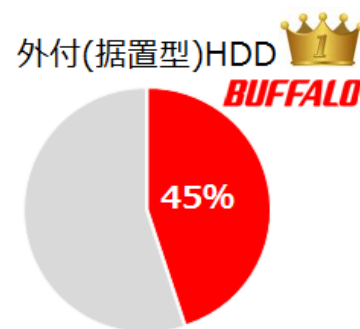
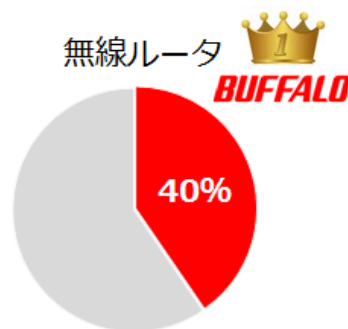
Macユーザー向け
薄型軽量ポータブルHDD



パフォーマンスと信頼性を追求した
10GbE標準搭載デスstation

ポジションの堅持

周辺機器市場が伸び悩む中、
高付加価値製品の開発・販売
に注力しながら市場シェアは
しっかり堅持



※全国の有力家電量販店販売実績を集計するGfK Japan調べ（2016年4月～2016年9月までのデータを元に集計）※メーカー別販売数量シェア

2.法人向け製品の積極投入による法人市場の深耕

法人向け事業へのシフトを加速させ、収益力強化を図る

監視カメラ市場への参入



低価格で設置も簡単な小規模店舗・オフィス向けの監視カメラシステム「Surcam（サーカム）」を上市。機器構成や設定をシンプルにすることで導入コストなどの障壁を下げ、新規導入促進を図る

お客様ニーズの具現化



突然のハードディスク故障による業務不稼働を未然に防ぐ「買い替え推奨通知機能」を搭載した外付けHDDを上市。業務を止めたくない、ビジネスデータの消失を防ぎたいというお客様のニーズを具現化

3.収益力強化活動の継続

アパートWi-Fiを中心とした、自社サービス事業の拡大に注力

アパートWi-Fi



前年同期比約300%増の累計導入実績800棟(約9,800戸)を達成。従来の機器販売ではリーチできない市場を積極的に攻略し、Wi-Fi環境の家庭普及率向上を目指す

BITSレンタル



建設現場等の短期利用向けレンタルサービスで、共有サーバー(NAS)や監視カメラの導入率拡大に注力。今後も利益率の高い、自社独自サービスの創出していきます

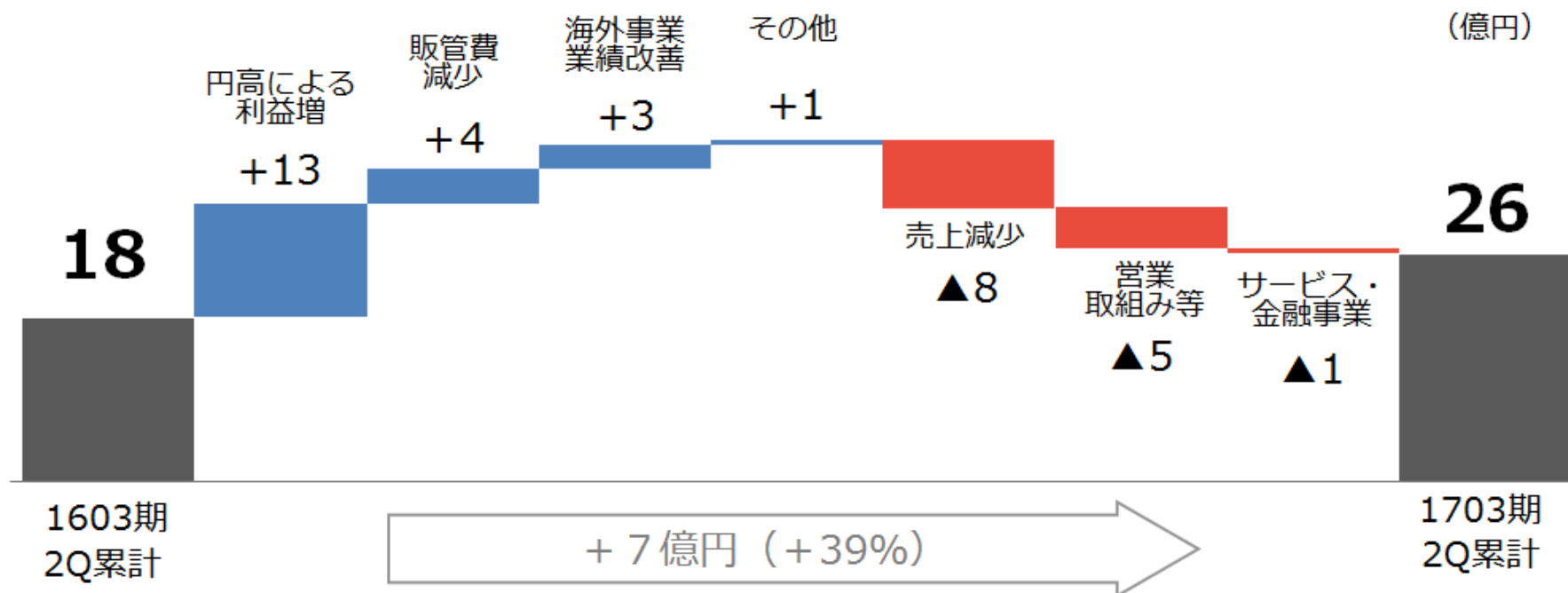
第2四半期(累計) 営業利益分析

増益
20億円

主に円高による利益増 13億円 (前年同期の為替レート比較)

減益
13億円

主に売上減少及びシェア拡大・堅持の為の営業取組みによる利益減



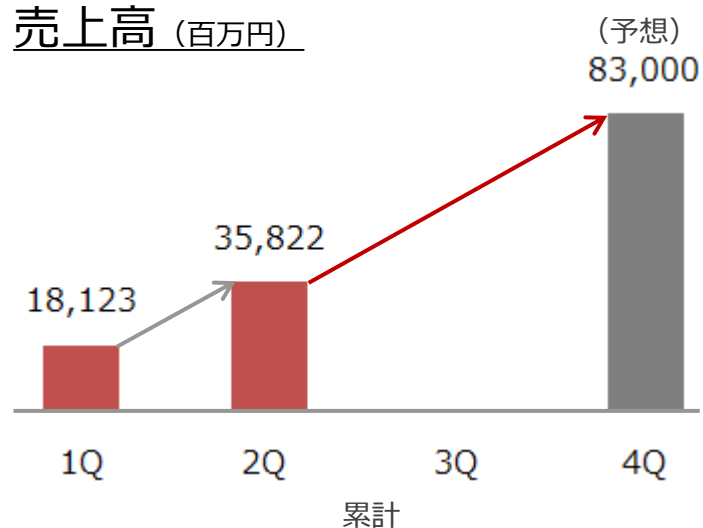
2017年3月期 業績見通し

2017年3月期 年間業績見通しのポイント

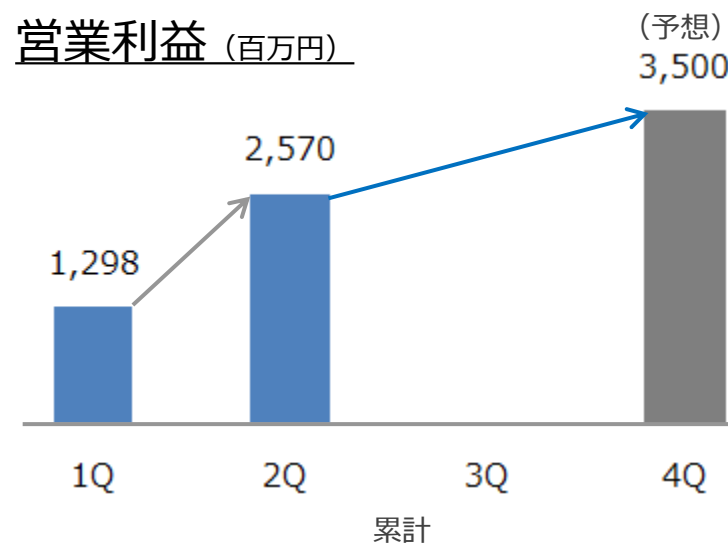
売上高 : 周辺機器事業の拡大を軸として、個人向けでは更なるシェア拡大を、法人向けでは差別化された製品の販売強化を行い売上増を目指す

営業利益 : 法人向けの高付加価値製品の販売強化及びアパートWi-Fiなどの自社サービスの拡大で収益増を目指す

売上高 (百万円)



営業利益 (百万円)



2017年3月期 年間業績見通し

売上高 : 市場の厳しいメモリ・ストレージ以外を伸ばし増収

営業利益 : 積極的な研究開発及び先行投資により減益

	1603期 実績 (億円)	1703期 見通し (億円)	前期比	
			増減率(%)	増減額(億円)
売上高	800	830	3.7	30
営業利益 (率)	44 (5.5%)	35 (4.2%)	▲19.6	▲9
経常利益 (率)	53 (6.6%)	46 (5.5%)	▲13.1	▲7
当期純利益 (率)	37 (4.6%)	35 (4.2%)	▲6.3	▲2

2017年3月期 事業別連結売上高

周辺機器：マーケットシェアの堅持と高付加価値製品の投入で増収

サービス：アパートWi-Fiの拡大と新規ビジネスの取組みで増収

金融：前期同程度の売上を見込む

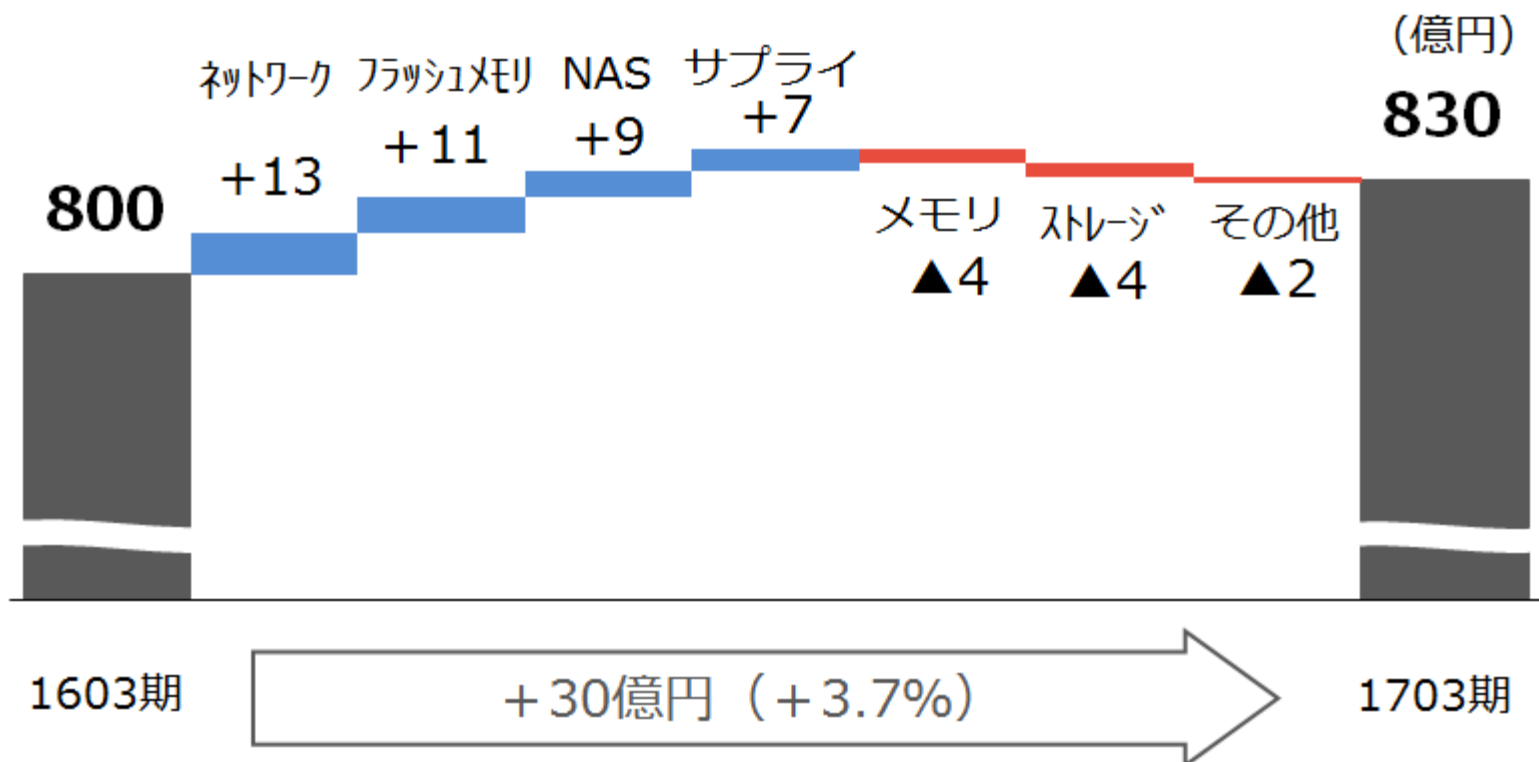
		1603期 実績 (億円)	1703期 見通し (億円)	前期比	
				増減率(%)	増減額(億円)
	周辺機器	763	791	3.7	28
	サービス	22	24	7.7	2
	金 融	15	15	▲3.4	0
	合 計	800	830	3.7	30

2017年3月期 カテゴリ別売上高分析

前期差30億円の増収、主な要因は以下の通りです

主な
増収要因

ネットワーク：中継機や法人向け製品を拡販し、シェアNo.1を堅持
NAS：法人向け新規モデルを投入
サプライ：技術力を活かした新製品を投入

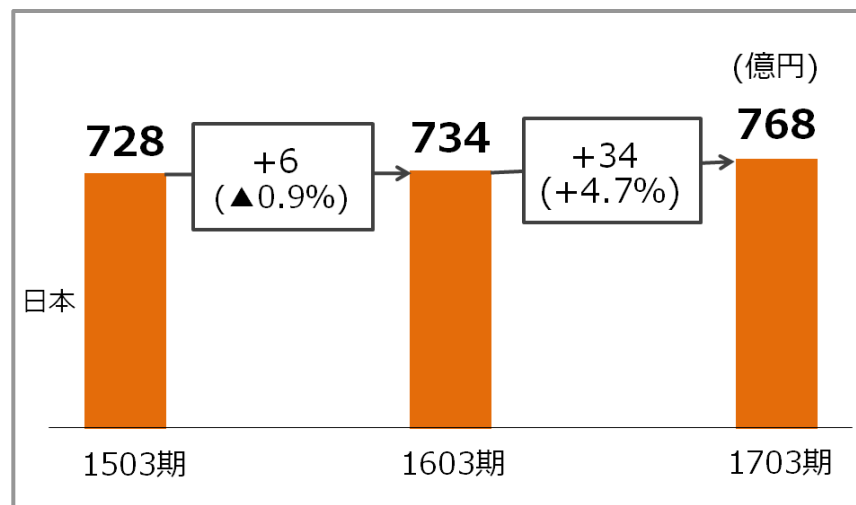


2017年3月期 地域別売上高見通し

単位：億円	日本	北米・中南米	欧州	アジア・オセアニア	合計
売上高 (前期比)	768 (5.4%)	25 (▲17.3%)	26 (16.9%)	11 (▲29.4%)	830 (3.7%)

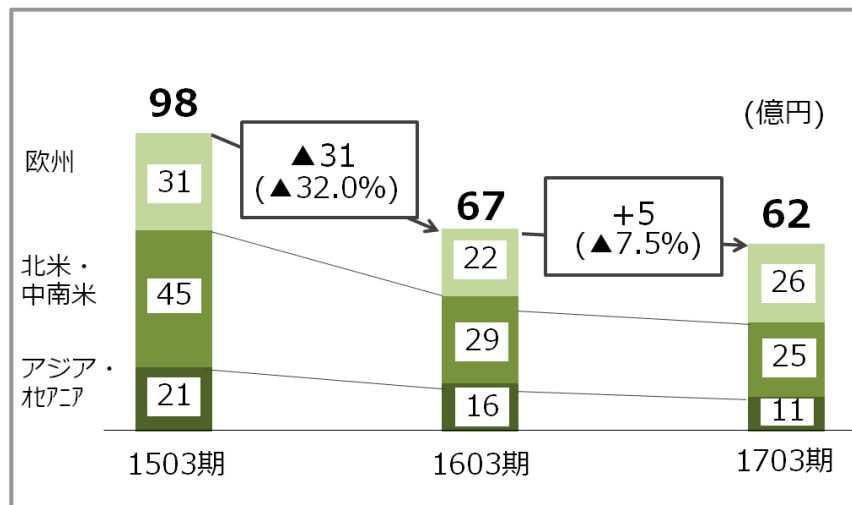
<日本>

好調なネットワークと法人向けNASの拡販により、増収を見込む



<海外>

オーディオNASが好調な欧州は増収見込み
北米、アジアは法人向け販路の再構築をする



設備投資・減価償却費・研究開発費

単位：百万円		1503期 実績	1603期 実績	1703期 2Q累計 実績	1703期 (見通し)
設備投資		432	401	152	405
	有形	306	344	119	375
	無形	126	57	32	30
減価償却費		774	682	313	655
	有形	343	289	114	375
	無形	431	392	199	279
研究開発費		2,517	2,031	985	2,355

メルコグループのご紹介

メルコグループ

メルコホールディングス 純粋持株会社

バッファロー

BUFFALO

中核となるブランドメーカーで
デジタル家電・パソコン周辺機器の
総合メーカー

バッファローメモリ

電子部品・電子応用製品の開発・販売

バイオス

ストレージ関連製品の開発・製造・販売

シー・エフ・デー販売

CFD

ハイレベルな個人ユーザー向け

バッファローダイレクト

インターネットを活用した機器の販売

メルコフィナンシャルホールディングス

グループにおける金融事業の統括管理

バッファロー・IT・ソリューションズ

BUFFALO™
IT Solutions

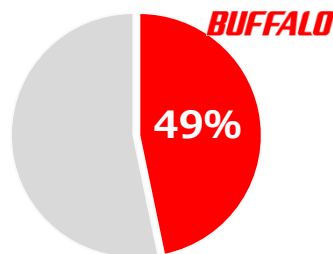
納入設定・設置・保守サービス

[海外] Buffalo Americas 他

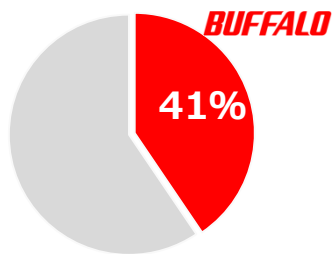
法人向けNAS・無線LANなどの販売

高い店頭シェアを誇り、多くの製品がシェアNo.1

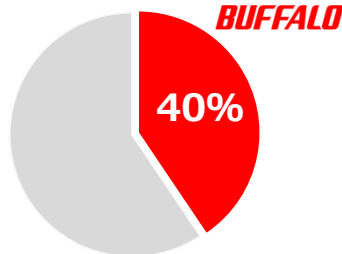
無線LAN



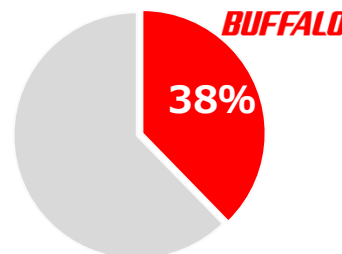
NAS



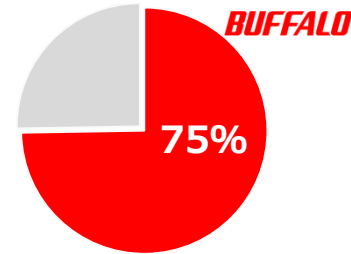
外付けHDD



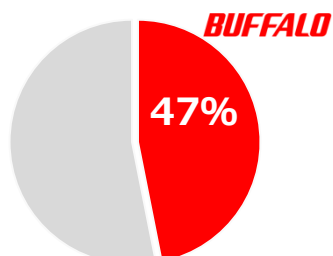
記録型DVDドライブ



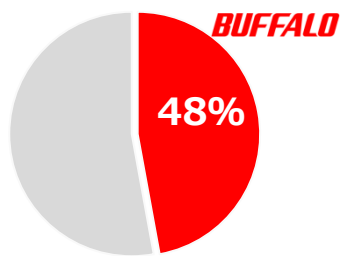
ルーター



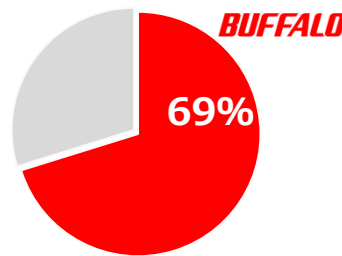
Hub



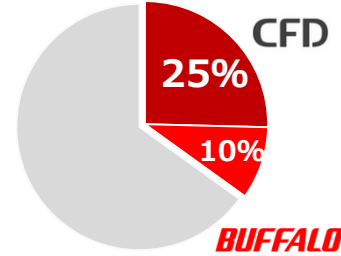
LANカード



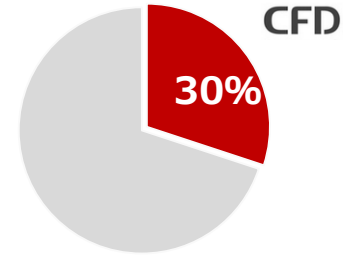
プリントサーバ



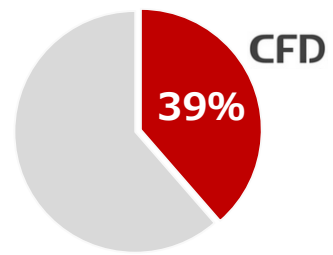
メモリ



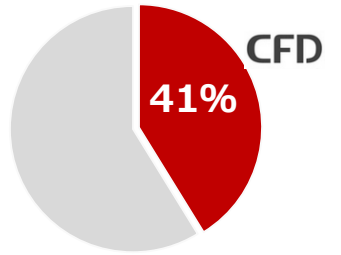
グラフィックボード



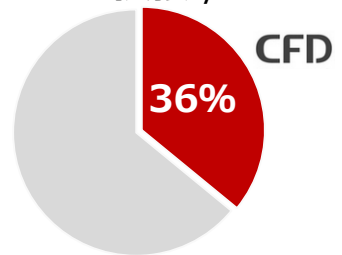
ドライブケース



PC電源



拡張I/F



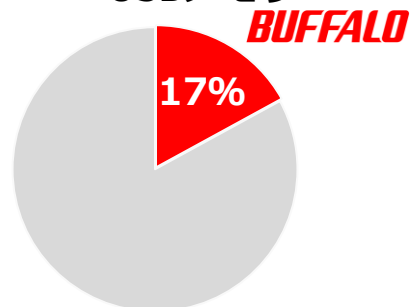
BCNランキング（2016年4月
～2016年9月までのデータを
元に集計・加工）



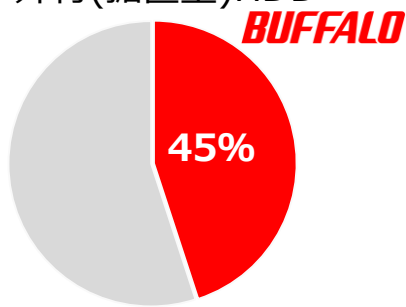
BCNが実施する「BCN AWARD」において、バッファローで10部門、CFD販売5部門の計15部門で2015年1月～2015年12月集計のメーカー別販売数量シェア第1位であることを認定されました。

GfK Japan 調べでも高い店頭シェアを誇ります

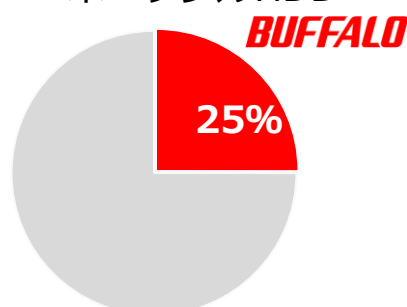
USBメモリ



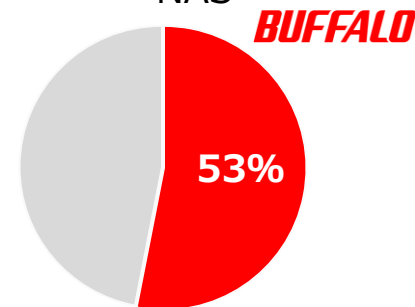
外付(据置型)HDD ※1



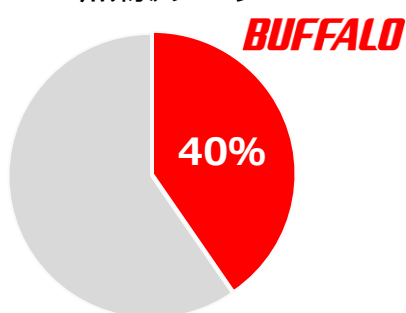
ポータブルHDD※2



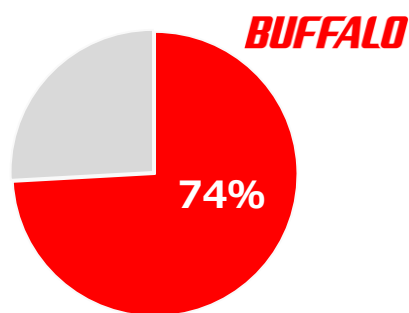
NAS※3



無線ルータ ※4



有線ルータ ※5



※1：外付（据置型）HDDは、『HDD』より「外付けタイプ」から「据置」を抽出

※2：ポータブルHDDは、『HDD』より「外付けタイプ」から「ポータブル」を抽出

※3：NASは、『HDD』より、「LANインタフェース」から「ワイヤード、ワイヤレス、他LAN」を抽出

※4：無線ルータは、『ルータ』より「伝送方式」から「共用」を抽出

※5：有線ルータは、『ルータ』より「伝送方式」から「有線」を抽出

全国の有力家電量販店販売実績を集計するGfK Japan調べ（2016年4月～2016年9月までのデータを元に集計） ※メーカー別販売数量シェア

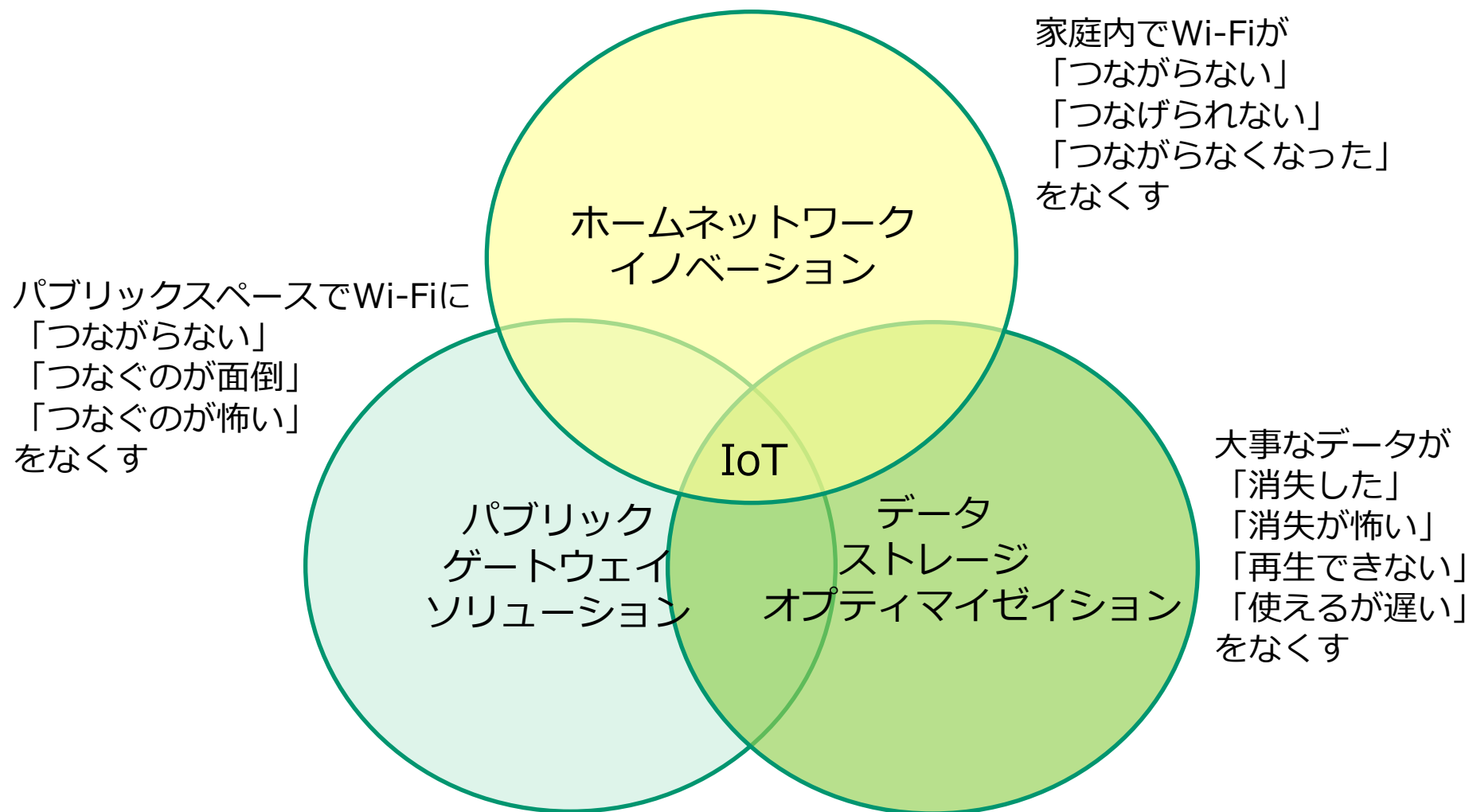


GfK Japanが実施する「GfK Certified」において、HDD、ネットワーク、USBメモリで2015年1月～2015年12月集計のメーカー別販売数量シェア第1位であることを認定されました。

中長期的な経営戦略

中期ビジョン（ゲートウェイ2.0）の概念図

IoT（モノのインターネット）時代の社会全体での安心ネットワークを提供



コーポレートステートメントの変遷

1987年 パソコン、もっと使いやすく

2000年 インターネット、もっと使いやすく

2009年 デジタルライフ、もっと快適に

2016年 **つなぐ技術で、あなたに喜びを**

私たちはこれまでも「IT時代におけるお客様の利便性向上」を使命とし、使いやすさと快適さを感じていただける商品及びサービスの提供を行ってまいりました。

そしてこれからは、誰もが簡単にそして安心してインターネットに接続でき、より安全で快適にデジタルデータを保存・再生できる喜びを提供していきます。

これらの事業活動を通して、理念を共有するすべてのステークホルダーの幸せを実現していきます。

森の経営の強化を図り、グループ収益力強化へ

永続的な成長といかなる外部環境の変化にも耐えうる強固な事業ポートフォリオ構築を目指して、以下の事項を当面の経営課題として認識し対応にあたっております

- ①創業者である牧誠が築いた事業基盤の円滑で混乱のない承継を完了すること
- ②デジタル家電およびパソコン市場の動向に過度に依存しないグループ事業ポートフォリオを早期に構築すること
- ③IoT時代に向けた製品開発、販路開拓、サービス提供を推進するための社内人材を育成すること
- ④経営理念であるメルコバリューのより一層の浸透に努め、グループの一致団結を推進すること



メルコバリュー

■ 千年企業

私たちは、先人の教えを真摯に学び活用し、常に未来を見据え、メルコバリューを共有する全ての人たちとともに、メルコグループの永続的な成長を目指します

■ 顧客志向

私たちは、常にお客様の視点に立ち、より良い社会生活の実現に資する商品・サービスを提供し続け、私たちの知恵と努力が社会の発展に寄与することを喜びとします

■ 変化即動

私たちは、世の中の変化に目をそむけず、誤りに気付いた時は引き返す勇気を持ち、常に自己研鑽に励み、自己変革を目指して行動します

■ 一致団結

私たちは、フェアアンドオープンで、高い志と情熱を共有する人たちと共に、いかなる困難をも乗り越え、一丸となって目標を達成します

本資料に関するご注意等

本資料の作成は、正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保証するものではありません。

本資料中の情報によって生じた障害や損害については、当社は一切責任を負いません。

本資料中の業績見通しならびに将来予測は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、事業環境の変化等の様々な要因により、実際の業績は記述されている将来見通しとは異なる結果となることをご承知おきください。

<お問合せ先>

株式会社メルコホールディングス 社長室 TEL : 050-5830-8865 / FAX : 050-5830-8867

E-mail : ir@melcoinc.co.jp